

■社会資本の老朽化対策

・北海道インフラ長寿命化計画（行動計画）に基づき社会資本の老朽化対策を計画的に推進します。

▼橋梁



▼舗装



▼公園



▼公営住宅



▼樋門



▼海岸



らんほっけ

【コラム②】道道 登別港線 蘭法華トンネル補修工事

○ トンネル諸元

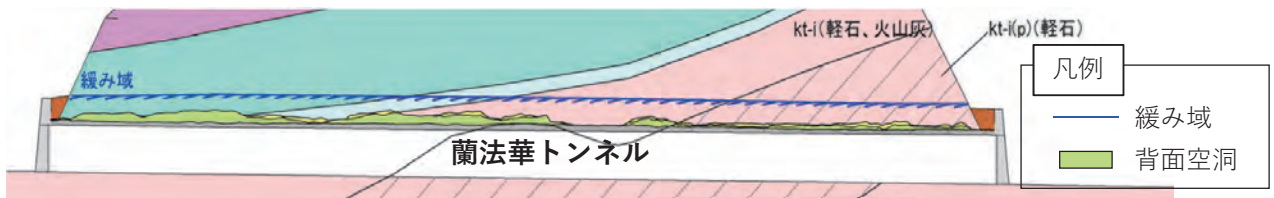
延長 : 118.6m
 幅員 : 7.5m
 竣工年 : 1932年(昭和7年) → 道道で最古!
 掘削工法: 木製支保工と矢板による工法

○ 位置図



○ 損傷状況

定期点検において、覆工コンクリートの劣化や漏水などが発生していたことから、詳細調査を実施し、背面の空洞(最大146cm) 覆工背面地山のゆるみ、覆工コンクリートのひび割れ・うき・剥離、鉄筋の腐食などを確認。



○ 補修

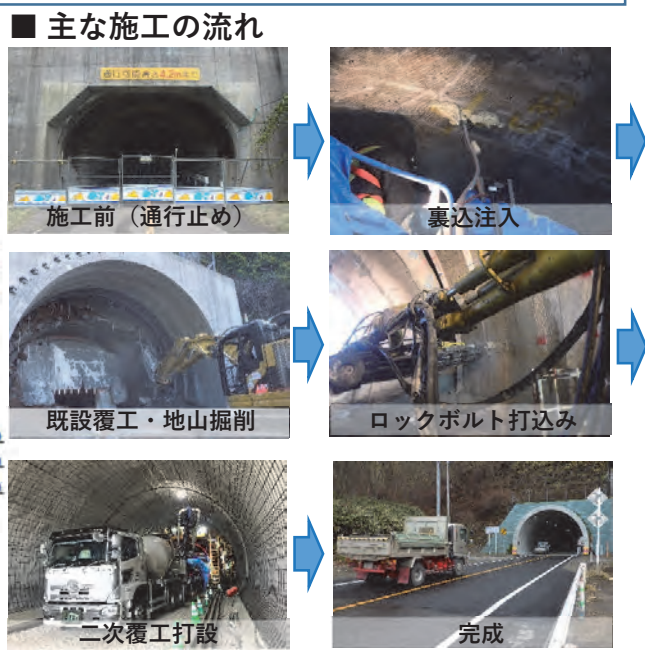
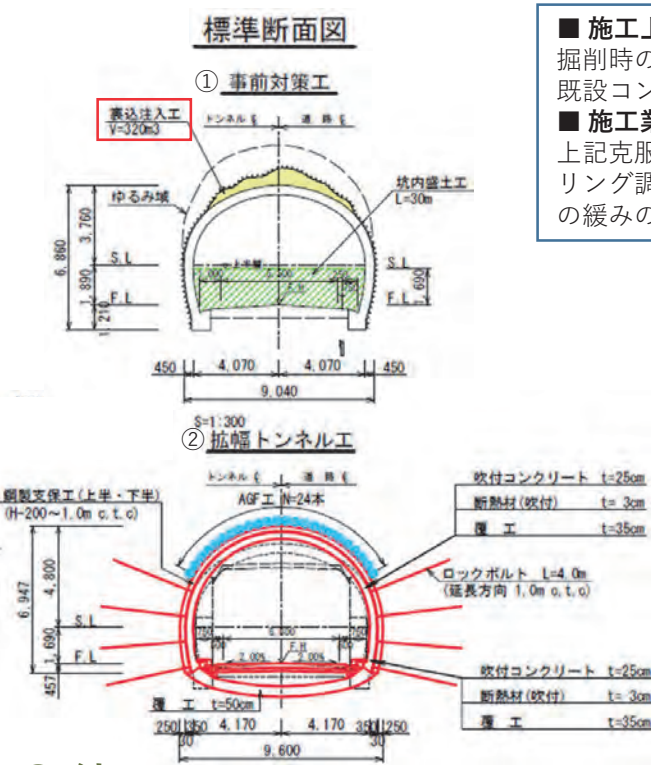
- 令和2年度に補修工事を開始。
 ①背面の空洞に裏込材を注入し、地山を安定化。
 ②劣化したコンクリートを除去し、NATM工法により新たなトンネルを構築。



■ 施工上の課題
 掘削時の振動による掘削最先端部の崩壊や天端の抜け落ち、既設コンクリートの剥落などが懸念された。

■ 施工業者の声【施工にあたり工夫した点】
 上記克服のため、電磁波による調査や掘削最先端部からボーリング調査を行い、既設コンクリートの強度低下範囲や地山の緩みの状態・湧水状況を確認しながら施工を行った。

ここがポイント



○ 結果

令和4年11月29日に補修工事完了、供用開始。安全で円滑な走行環境を確保。